

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
② 一問一答方式

質問件名 新型コロナウイルス感染症による生活困窮への対策について

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

新型コロナウイルス感染症の影響により雇用情勢が悪化したとして、全国では4月の生活保護申請件数が前年同月に比べて24.8%増加したとの報道がありました。小平市でも生活困窮者自立支援のため住宅確保給付金が今年度一般会計補正予算第2号51,646,000円に続いて第4号でも67,702,000円計上されました。

いまだに先の見えないこのコロナ禍において、今後も多くの方が生活困窮に陥る可能性は高く、市としては市民の声を聞き、適切な対応をとることが必要です。市としてもできる限りの対策をとるために以下質問します。

- 1、住宅確保給付金の申請が増加しています。申請に至る具体的な経緯について、例をお示ください。
- 2、雇用状況を改善するために市としてはどのような対策が考えられますか。
- 3、小平市で生活保護を申請、受給された方は増えていますか。前年に比べての申請、新規受給者数について直近6か月の推移をお示ください。
- 4、生活保護費の受給を終了した方は昨年度一年間で延べ何人いましたか。終了の理由についてもお示ください。
- 5、今後、就労の受入れ先を探すことや紹介なども必要になります。市としてどのようなことを行いますか。
- 6、生活保護受給者には精神疾患や情緒的な困難を抱え、長時間の就労が難しい方もいます。勤務時間など柔軟な勤務体制がとれる就労先の紹介などきめ細やかなサポートが必要と考えますが、市の対応について伺います。
- 7、生活が困窮している方へ小平市のフードバンクの取組みを紹介していますか。また利用状況についても教えてください。
- 8、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、社協福祉バザーが中止になりました。冬物の衣料や布団など冬に向けて必要なものを必要な方に届けるために、どのように対応できますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

令和2年8月31日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

26	25	24	23

-(/)